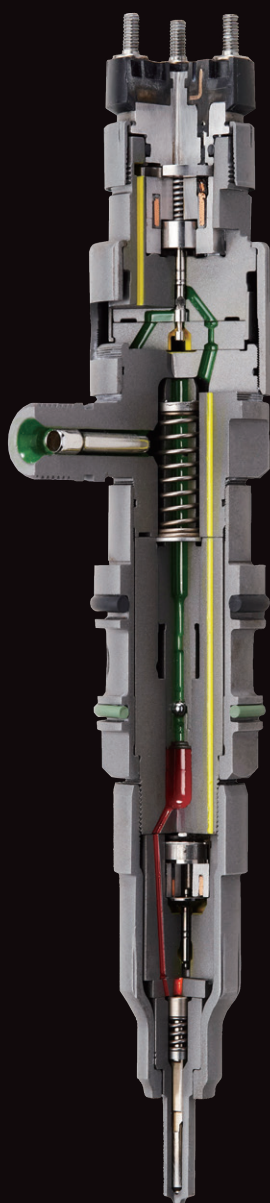


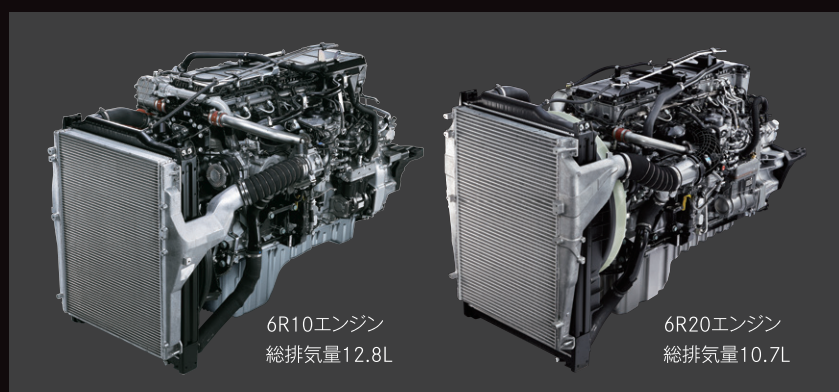
インジェクター

定期洗淨のお願い

INJECTOR CLEANING MAINTENANCE



大型トラック・バス6R10/6R20エンジン搭載車

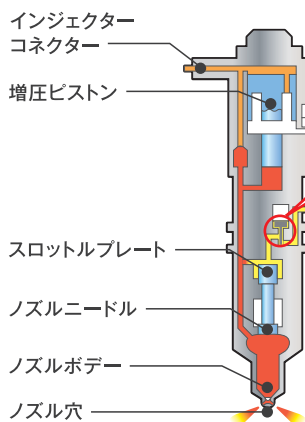


**6R10/6R20エンジン車は、
6カ月（または5万km）ごとに
インジェクター定期洗淨が必要です。**

クリーンな超低排出ガスと燃費向上を両立するため、現在大型トラック・バスに搭載している6R10/6R20エンジンでは超高圧の燃料噴射を行っています。このため噴射する燃料温度が高温となり、インジェクターの内部に、燃料の添加剤成分や不純物に変性したデポジット（汚れ）が付着しやすくなっています。デポジットの付着で、正常な燃料噴射制御ができなくなると、予期せぬエンジントラブルにつながる恐れがあります。こうしたトラブル予防のため、6R10/6R20エンジン車では純正インジェクションクリーナーを使用した定期メンテナンスが定められています。お客様の安心稼働を守るため、ぜひお近くの三菱ふそう販売店にご用命ください。

予期せぬ故障防止・性能維持のために、 定期的なインジェクター洗浄を！

インジェクター洗浄をする理由は？



インジェクター内部のバルブの摺動部に沈着物が付着し、摺動不良を起こし、燃料噴射が適切にコントロールできなくなる場合があります。



インジェクター洗浄の効果は？

エンジントラブルの防止

DPF®再生頻度の減少

エンジンパワーの回復

燃費の悪化防止

※DPF®は三菱ふそうトラック・バスの登録商標です。

洗浄該当車と洗浄の目安

車種	エンジン	品名	部品番号	洗浄時期(どちらか早い方)	使用本数	使用
大型トラック・バス	6R10	インジェクション クリーナー F-100	QZ000690	6ヵ月または5万km	4本	必須
	6R20					

[参考] 洗浄剤使用濃度:1.0%以下

三菱ふそう純正インジェクションクリーナー

三菱ふそうが評価した、適切かつ安全なクリーナーです。

[作業手順について]

- 1 エンジン停止状態で、燃料タンク給油口周辺の油、ごみ、水などを除去してください。
- 2 燃料タンク内が空に近い状態で給油口から洗浄剤を注入し、燃料を給油してください。
また、燃料は満タンになるよう給油してください。
- 3 洗浄剤と燃料の混合をよくするために、下記のことを必ず遵守してください。
 - 洗浄剤の注入は必ず燃料給油直前に行ってください。
 - 洗浄剤を注入後、給油するまでは絶対にエンジンを始動しないでください。
 洗浄剤の酸化を防ぐため、注入後、再給油しない状態で車両を6ヵ月以上放置しないでください。

[不具合発生時修理費の事例]

定期洗浄を怠り、
万一不具合が発生した際には
修理費用が高額出費となります。

修理内容	有償修理費用
インジェクター交換	約 60万円
エンジン交換	約700万円

* 上記金額は大型トラックでの一例です。

[不具合事例]

事例1

燃料が連続噴射状態となり、エンジンオイルが燃料により希釈されてコンロッドベアリングが損傷、エンジンを交換。



事例2

燃料が排気系に流出し、テールパイプから火災が発生して、バスのリヤバンパーが焼損。



【ご注意】 万一、エンジンオイル量が急に増加した場合は、燃料が連続噴射状態となり、エンジンオイルが燃料により希釈された可能性がありますので、エンジンオイルの交換が必要です。



容量 500mL 品番 QZ000690

警告

- 洗浄剤は揮発性液体のため、通気の良い場所で作業してください。
- 外気温が-20℃以下となる恐れがある場合は使用しないでください。

www.mitsubishi-fuso.com



シートベルトをして、地球にやさしいエコドライブを。

2020年4月現在

三菱ふそうトラック・バス株式会社

〒211-8522 神奈川県川崎市中原区大倉町10番地